

○事業所名	児童発達支援　ハッピーテラス小田原教室			
○保護者評価実施期間	2025年6月16日 ～ 2025年7月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年7月16日 ～ 2025年7月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年8月8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	子どもたちの季節感や主体性を育むことを目的に、週ごとのテーマや四季折々の行事を毎年変化を持たせながら企画・実施しています。 また、地域の体育館を活用した集団スポーツ活動や、様々な公共・民間施設を活用した体験的活動を取り入れ、子どもたちの運動機会・社会体験の幅を広げています。これらの活動を通じて、社会性・体力・協調性の向上を目指しています。	活動内容は年間を通じて多様性があり、イベントでは子どものリクエストに応じた内容も取り入れて実施しているものの、子ども主体の活動企画の機会はまだ限定的であり、自己決定力を育む余地がある。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	消防本部の助言を受け、4月と9月にそれぞれ1週間の期間を設けて避難訓練等を実施しており、自治体との間では「災害時における要援護者の緊急受入れに関する基本協定」も締結している。これらを通じて、子どもたちの安全意識の向上と職員の対応力の強化を図っている。	自治体や消防本部、地域の防災組織と密に連携し、災害発生時の役割分担や情報共有の体制をさらに整備していく。
3	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている	相談内容に応じて保護者と共に課題を整理し、具体的な支援方法を提供するよう努めている。また、日常の会話の中から悩みや不安をくみ取れるよう、信頼関係の構築と丁寧な傾聴を大切にしており、必要に応じて関係機関と連携しながら、より効果的な支援につなげている。	関係機関との連携をさらに強化し、相談内容に応じた専門的な支援や外部資源の活用につなげることで、より効果的な対応を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	自治体で行われている作品展などへは希望者を募り参加したりしているが、地域の活動への参加、交流は出来ていない。	地域イベントへの参加や作品展示、地域団体との情報交換などを通じて、地域とのつながりを少しずつ広げていく工夫を行っていく。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	保護者参加型のイベントも年1回は開催するようにしているが、保護者アンケートでも望まない家庭が多く、機会の創出が難しい。	保護者の負担を軽減したオンラインや小規模の交流会を企画し、ニーズを把握した上で参加しやすい内容と時間帯で多様な交流機会を提供するとともに、きょうだいも含めた家族単位の参加を促進する。
3			